

北九州市水道事業検討会 委員一覧

(五十音順、敬称略)

氏 名	現 職 業・役 職
お ば た ゆ き こ 小 畑 由 紀 子	北九州市食生活改善推進員協議会 副会長
き く ち ひ ろ こ 菊 池 裕 子	九州共立大学 経済学部 教授 (財政学、租税論、地方財政論)
さ と う ゆ う や 佐 藤 裕 弥	(株)浜銀総合研究所 地域経営研究室 室長
そ う み よ こ (新) 宗 美 予 子	TOTO(株) 総務第二グループリーダー(企業代表)
た け や ゆ き こ 武 谷 由 紀 子	平成22年度 水道モニター(市民代表)
ふ く ち ま さ よ し 福 地 昌 能	福地公認会計士事務所 所長
ま つ あ き あ つ し 松 明 淳	(社)日本水道協会 調査部長
や な い ま さ と 柳 井 雅 人	北九州市立大学 経済学部 教授 (地域経済学、産業立地論)
よ し も と な つ こ 吉 本 奈 津 子	平成21年度 水道モニター(市民代表)

: 座長、 : 副座長

「北九州市水道事業検討会」について

1 議 題
【平成23年度】

名 称	時 期	内 容
第1回 北九州市水道事業 検討会	8月24日 (水)	1 中期経営計画の進捗管理（PDCA）について 2 平成23年度予算及び主な事業の取組状況について ① 平成23年度上水道事業会計予算及び主要事業 ② 震災対策 ③ 有収率向上対策 ④ 水道用水供給事業 ⑤ 海外水ビジネス事業 ⑥ 北九州水道100周年記念事業
第2回 北九州市水道事業 検討会	2月10日 (金)	1 平成24年度予算（案）について（PDCA 評価反映） 2 主な事業の取組状況について ① 水質向上対策 ・遠賀川の水源水質対策 ・安全でおいしい水対策 ② 海外水ビジネスの展開 ③ 水道事業の広域化 ・水巻町水道事業との事業統合 ④ 営業業務の見直し 3 報告事項 ① 北九州水道100周年記念事業

【平成24年度】

名 称	時 期	会議内容（案）
第1回 北九州市水道事業 検討会	7月下旬頃	1 平成24年度上水道事業会計予算について 2 後期経営計画の進捗管理（PDCA）について ① 平成23年度事業の進捗管理 ② 平成24年度事業の目標設定 3 主な事業の取組状況について ① 有収率向上対策 ② 環境負荷の低減
第2回 北九州市水道事業 検討会	2月上旬頃	1 平成25年度予算（案）について（PDCA 評価反映） 2 主な事業の取組状況について ① 水道トライアングル構想の実現 ② 水道施設再構築プランの策定 ③ 海外水ビジネスの展開

◆平成 24 年度水道事業予算（案）

(1) 平成 24 年度水道局経営方針

【水道事業】

近年の水需要は、人口の減少や節水機器の普及などにより水需要の減少に伴い、料金収入の減少傾向が続くなど、厳しい経営状況が見込まれるなか、「北九州市水道事業検討会」における外部の評価・助言を踏まえ、着実に事業を推進していきます。

特に、「東日本大震災」の発生を踏まえた災害対策を重点的に取り組むとともに、海外事業の展開や水巻町との事業統合、遠賀川の水質改善などにも積極的に取り組みます。

災害対策などにより増加する整備事業費の財源には、「水道事業中期（後期）経営計画」に基づき累積資金剰余を約 2.5 億円活用する予定です。

一方で、営業業務の見直しなど経営改善にも引き続き取り組み、収益的収支で 5.8 億円程度の黒字を確保し、積極的な事業展開と健全経営の維持を両立していきます。

なお、企業債残高については、企業債の発行額を償還金の範囲内に抑えることで、0.8 億円縮減する予定です。

(2) 収支比較

(単位：百万円)

区 分	財政計画(A)	H24 予算案(B)	差引(B)－(A)
収 入	18,359	18,517	158
うち料金収入	15,825	15,805	△20
支 出	17,869	17,942	73
収益的収支	490	575	85
収 入	4,508	4,539	31
うち企業債	3,459	3,560	101
支 出	12,554	12,539	△15
うち企業債償還金	3,630	3,635	5
資本的収支①	△8,046	△8,000	46
補 填 財 源 ②	7,814	7,753	△61
単年度資金剰余①＋②	△232	△247	△15
累積資金剰余(基金含む)	6,783	6,935	152

企業債残高(北副緊急事業除く)	58,824	58,521	△303
-----------------	--------	--------	------

(3) PDCA 評価に基づく次年度予算への反映状況

■強化する事業及び取組内容

番号	個別事業	中期経営計画で掲げた目標及び 水道事業検討会での主な意見	H24 予算における取組内容
1	経年劣化の著しい 施設の更新 (老朽管更新事業)	<ul style="list-style-type: none"> 配水管更新延長：50km/年 導送水管更新延長：3.9km/年 	<ul style="list-style-type: none"> 配水管更新延長：50km 導送水管更新延長：4.4km
2	震災対策	<ul style="list-style-type: none"> 浄水施設耐震化：井手浦浄水池他 配水池耐震化：3 箇所(H23~H25) 基幹管路耐震化：8~10km/年 緊急遮断弁整備：2 箇所(H23~H25) 	<ul style="list-style-type: none"> 浄水施設耐震化：井手浦浄水池他 配水池耐震化：3 箇所(H23~H25) 基幹管路耐震化：10km 緊急遮断弁整備：1 箇所(日峰配水池)
3	漏水調査の強化 (有収率向上対策)	<ul style="list-style-type: none"> 重点箇所の漏水調査： 成果主義の導入 (H23~) 簡易漏水調査の実施 (H24~) <u>効果の検証結果を踏まえ、弾力的な施策の転換</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 重点箇所の漏水調査： 成果主義の導入 簡易漏水調査の実施 (新)老朽給水管の取替
4	遠賀川の水質改善 対策	<ul style="list-style-type: none"> <u>井手浦と同等の水質を目指す取組の実施</u> 流域市町村全体で水質保全の共通 条例等の制定 流域環境保全団体への支援の実施 <u>頓田貯水池の水質改善対策の実施</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 流域市町村で河川環境の改善に向けた遠賀川流域宣言の採択 流域の活動団体へ助成する制度の創設 頓田貯水池の水質改善対策の実施
5	安全でおいしい水 対策	<ul style="list-style-type: none"> <u>残留塩素低減化の実施</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 残留塩素低減化に向け調査の実施及び対策の立案 (本城浄水場給水エリア)
6	水道事業の広域化	<ul style="list-style-type: none"> 分水解消の検討(水巻町、岡垣町) 新たな広域連携(東部地域、宗像地域、遠賀川流域など)の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 水巻町水道事業の統合 新たな広域連携の検討： 香春町水道事業実施計画の策定
7	海外水ビジネスの 展開 (海外事業の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <u>国際技術協力の実績から構築される人的ネットワークの形成</u> 海外水ビジネスの展開 	<ul style="list-style-type: none"> カンボジア、中国・大連市、ベトナム・ハイフォン市等、海外水ビジネスの具体的な案件形成に向けた取り組みの推進

中期経営計画で掲げた目標欄の下線は、「第1回 北九州市水道事業検討会」での主な意見。

◆重点的に取り組みを行う主なもの

「中期(後期)経営計画」に掲げた主要事業に着実に取り組み、推進します。

(1)いつでも安定して供給できる水道

自然災害や老朽化による漏水事故を未然に防ぐ対策として、経年劣化した水道施設の更新や耐震化を実施するとともに、これらが発生した場合でも安定した給水体制を確保するため、バックアップ機能の強化などに取り組みます。

【番号1】拡充

■経年劣化の著しい施設の更新（老朽管更新事業）

3,895,000千円

(うち拡充分235,700千円)

経年劣化が進んでいる配水管・導送水管を計画的に更新するとともに、重要な管路を耐震化します。

- ・ 配水管更新 L=50km 3,000,000千円
- ・ 導送水管更新 L=4,410m 895,000千円

【番号2】拡充

■震災対策

744,373千円

(うち拡充分426,981千円)

浄水施設などの基幹水道施設の耐震化工事を実施します。また、震災時の応急給水拠点の整備を進めます。

- ・ 浄水施設の耐震化工事等 305,373千円
- ・ 配水池の耐震化工事 379,000千円
- ・ 緊急遮断弁の整備 30,000千円 など

継続

■バックアップ機能の強化対策

345,340千円

3つの基幹浄水場をループ化する「水道トライアングル構想」を完成させるとともに、送水管の2条化により、災害等の発生時でも給水に支障のない施設整備を進めます。

- ・ 小森江系送水管 L=1,000m 239,000千円
- ・ 二島配水池2系統化整備〔水道トライアングル構想付帯整備〕 96,340千円
など

継続

■水道施設再構築プランの策定

17,800千円

広域化の検討状況や世界的な水不足問題などを視野に入れた将来の水需要に見合う施設規模に見直すため、検討を進めます。

- ・ 浄水場施設コスト比較、カルテ作成

【番号3】拡充

■漏水調査の強化（有収率向上対策）

271,972千円

(うち拡充分50,772千円)

漏水量を削減し有収率の向上を図るため、23年度より導入した漏水調査の成果主義に加えて、24年度から簡易調査を導入し、年1回の頻度で全件調査を実施します。また、漏水防止策として、老朽給水管取替を実施します。

- ・ 重点箇所の漏水調査（成果主義） 206,200千円
- ・ 簡易漏水調査・修繕 43,772千円
- （新）老朽給水管の取替 22,000千円

(2)お客さまが安心しておいしく飲める水道

さらに安全でおいしい水をお届けできるよう、水質の向上に取り組みます。

【番号4】継続**■遠賀川の水質改善対策****7,500千円**

主要水源である遠賀川の水質改善対策として、流域の22市町村で河川環境の改善に向けて取り組む「遠賀川流域宣言」を採択し、生活排水対策などを進めます。

あわせて、遠賀川の流域で環境保全活動に取り組む活動団体を支援するため、資金を助成する制度を創設します。

さらに、頓田貯水池の水質改善を実施します。

【番号5】継続**■安全でおいしい水対策(残留塩素低減化対策) 53,000千円**

浄水場での塩素注入削減や配水池などでの追加塩素方式を組み合わせた残留塩素の低減化対策を本城浄水場の給水エリアで実施します。

(3)環境モデル都市を推進する水道

低炭素社会の実現のため、エネルギー消費や環境負荷の少ない事業運営を目指します。

継続

■太陽光発電設備設置事業**20,000千円**

配水池などの水道関連施設に太陽光発電設備を設置し、再生エネルギーの活用によりCO₂を削減します。

- ・ 配水池 2箇所

継続

■省エネルギー対策整備事業**116,000千円**

送水ポンプを適正規模に更新することや配水ブロックの改善により、エネルギーロスを減らし消費電力を削減します。

- ・ 送水ポンプ等更新 工事等 91,000千円
- ・ 配水ブロック改善 工事等 25,000千円

(4)世界・地域に貢献する水道**【番号6】新規****■水巻町水道事業の統合****200,000千円**

※全額水巻町負担

水巻町との水道事業の統合に向け、システム改修など準備を進めます。

【番号6】拡充**■水道事業の広域化****14,795千円**

(うち拡充分12,014千円)

新たな広域連携を推進するため、周辺自治体など関係機関と検討を進めます。

【番号7】拡充**■海外事業の展開****68,440千円**

(うち拡充分42,135千円)

カンボジア、中国・大連市、ベトナム・ハイフォン市等において、技術協力・人材育成に貢献するとともに、海外水ビジネスの具体的な案件形成に向けた取り組みを着実に推進します。